

令和7年度
外部講師を活用したがん教育等
現代的な健康課題理解増進事業

桐生市立西小学校における 「がん教育」の実践

桐生市立西小学校
教諭 大湊 和徳
養護教諭 加賀美 佳世

1

桐生市立西小学校

学校紹介

全校児童 192人

学級数（含特別支援学級）9クラス

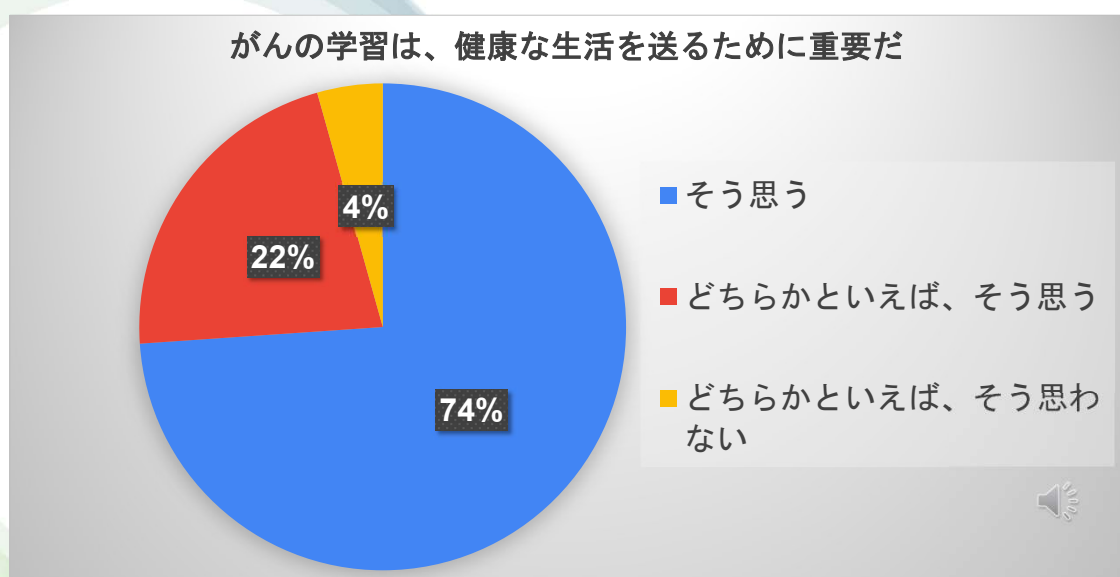


2

1. 本校児童の実態
2. 本校の「がん教育の目標」
3. 本校の取組
4. 成果と今後に向けて

3

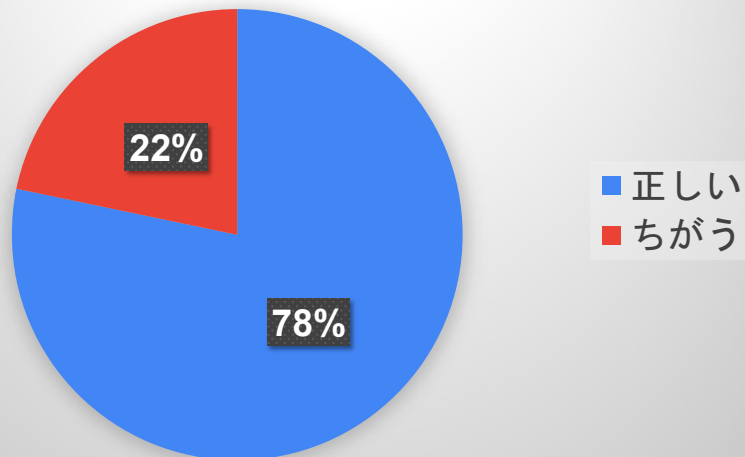
Ⅰ 本校の実態（事前アンケート等より）①



4

Ⅰ 本校の実態（事前アンケート等より）②

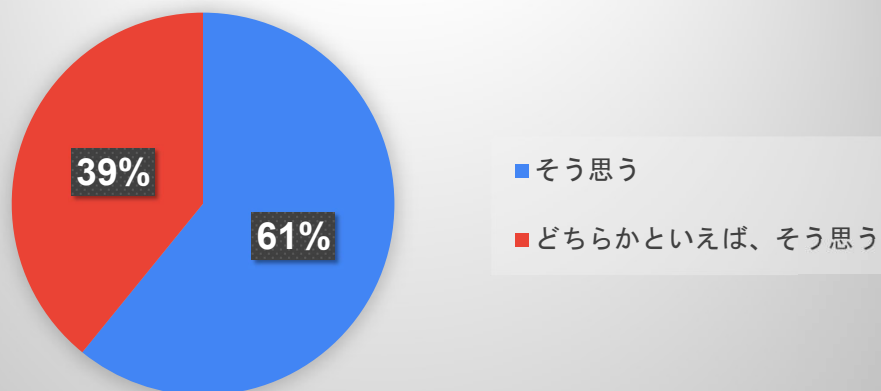
早期発見すれば、がんは治りやすい。



5

Ⅰ 本校の実態（事前アンケート等より）③

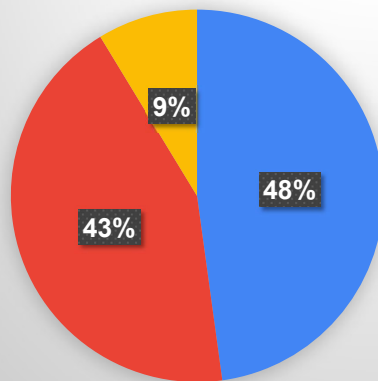
がん検診を受けられる年齢になったら、
検診を受けようと思う。



6

Ⅰ 本校の実態（事前アンケート等より）④

身近な人ががんになったときに、
自分にできることがある。



- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない



7

2 本校の「がん教育の目標」

（がん教育の定義）

健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る。

※「がん教育の手引き」より

（本校のがん教育の目標）

- ①がんについて正しく理解する
- ②健康と命の大切さについて主体的に考える
- ③がんと共に生きることを考える

がん教育の手引き
（令和4年3月）



©群馬県 ぐんまちゃん

群馬県教育委員会
監修：がん教育の手引き作成委員会



8

3 本校の取組

- ①学級活動の実践
- ②外部講師による授業
- ③低学年・中学年へのがん教育
- ④学校保健委員会による周知や啓発
- ⑤各種便りの発行



9

3－① 学級活動の実践

9月30日（火）
第5学年 学級活動

「がんから命を守るために自分にできることを考えよう」
〔学指要領：（2）、ウ〕

がんを罹患した経験を持つ方のお話を聞いて、「身近な人が、がんにかからないようにするために自分でできること」
「がんにかかった方が身近にいたら自分にできること」について考えました。



【県・市教委との授業検討会の様子】



10

3-① 学級活動の実践

[illegible][illegible][illegible]

3-① 学級活動の実践

[illegible]

身近な人ががんにならないようにするために自分にできること。

- ①食事
- ②運動
- ③睡眠
- ④ストレス

がんの患者の方のために自分でできること。

3－③ 低学年・中学年へのがん教育

「がん」ってなあに？



にししょう ほけんしつ

「がん」はどんなびょうき？

・2人に1人が、一生のうちに「がん」になるといわれています。

・「がん」はだれでもなる可能性のあるびょうきです。



どうして「がん」になるの？

・にんげんのからだは、たくさんの「さいぼう」できている。

・「さいぼう」がふるくるとあたらしいものにいれかわる。



どうして「がん」になるの？

「がん」

⇒「せいかつしゅうかん」とかわりがふかい



「がん」をよぼうしよう！

「きそくたしいせいかつ」

はやね・はやおき

あさごはん



「がん」をよぼうしよう！

「バランスのとれたしょくじ」

やさい・くだもの

しょっぱいもの



「がん」をよぼうしよう！

「てきどなうんどう」



「がん」をよぼうしよう！

「たばこやおさけ」



「からだのつらさ」「こころのつらさ」



17

3－④ 学校保健委員会における普及や啓発

第1回

動画で見た内容は子どもでも分かりやすい内容だった。なんとなくでもいいので「こんなことがあるんだな」ということを小さい頃から知るのはいいことですね。

身近な人の「がん」のエピソードやお子さんがヘッドネーション（ウィッグ）に参加したお話をうかがいました。また、日々の食生活の中で子どもへ「バランスよく食べないと、病気になるっちゃうよ」と伝え、健康管理を心がけている等の話題が出ました。

自分たちが子どもの頃は「がん」に対しての知識もなく、「がん」のイメージがとても怖かった。動画を見て、早く発見すれば、怖くないんだと感じた。病院へ行って、何もありませんと言われれば安心してすごせるわけですから、定期検診は大切と改めて思いました。

手づくりスポーツドリンクを飲みながら協議を行いました。



第2回

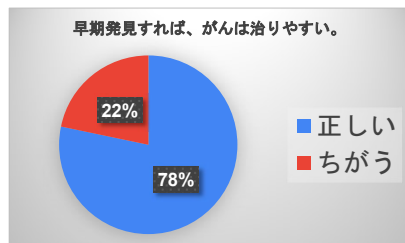


・がん教育について、活発なご意見をいただきました。

・家庭でも学校で学んだことをもとに「がん」について話し合ったとのことでした。

18

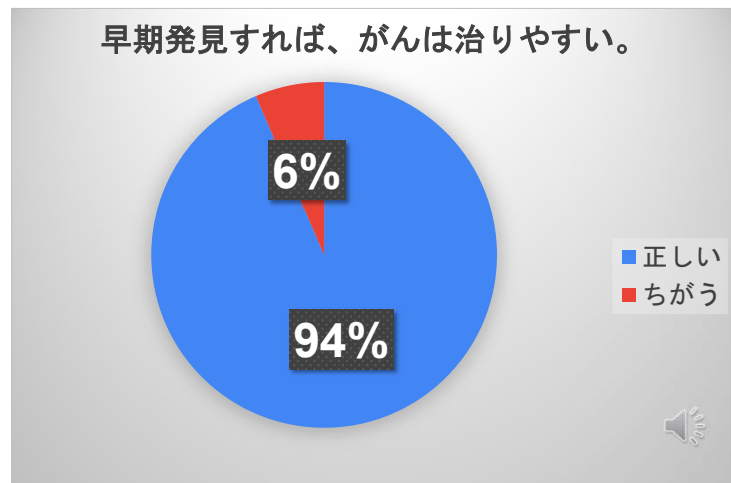
4 成果と今後に向けて（事後アンケートより）



before

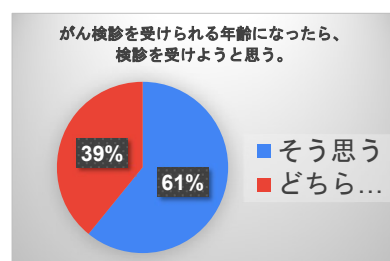


after



23

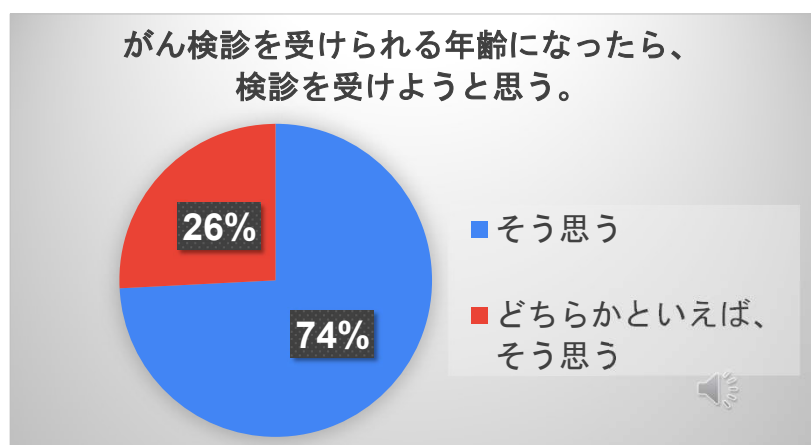
4 成果と今後に向けて（事後アンケートより）



before

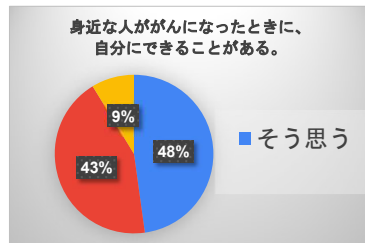


after

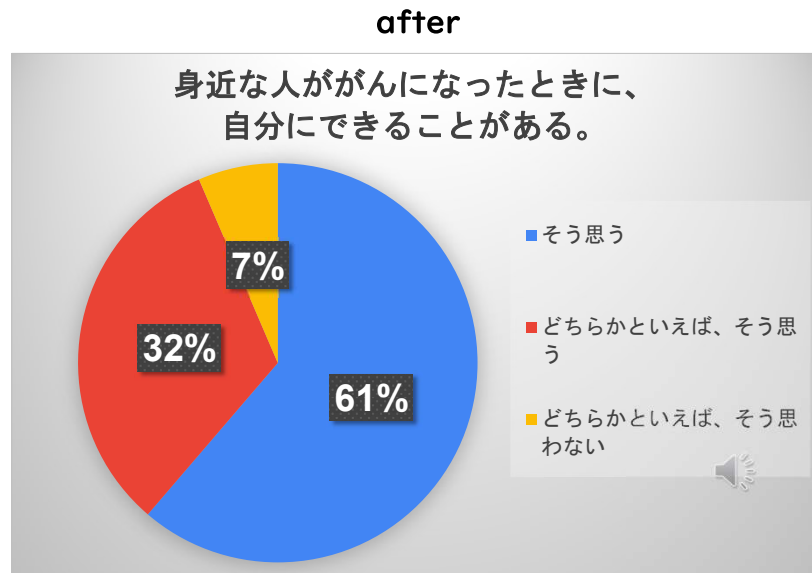


24

4 成果と今後に向けて（事後アンケートより）



before



25

おわりに

（がん教育の目標）

- ①がんについて正しく理解する
- ②健康と命の大切さについて主体的に考える
- ③がんと共に生きることを考える

予測困難な時代に生きる



正しく知って備えれば
私たちに明るい未来



26